

松戸市立総合医療センター



医療連携 News



第178号 (2022.3)

編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター
病院長 尾形 章

早春の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

「医療連携News」は、医療機関の皆様方へ毎月お送りしております。是非ともご高覧いただき、また患者さんへ必要な情報をご提供いただけましたら幸甚に存じます。



形成外科のご案内

常日頃から当科の診療、運営にご理解とご支援を頂き、ありがとうございます。当科は現在、常勤医2名（専門医1名、専攻医1名）で診療を行っております。人員的に診療可能な時間帯、患者数には限界がありますが、最大限に効率的な診療を心掛けていきたいと思っております。

日本で形成外科診療が開始されてから既に半世紀以上が経ちますが、なお多くの患者さんから「整形外科とどう違うのですか？」と質問される機会があります。眼科、泌尿器科などのように臓器別の診療科ではないという点がわかりづらいところですが、「全身の皮膚・軟部組織（頭部、顔面、手においては骨も）」が専門対象となります。身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、あらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることを目指しています。

対象となる疾患は多岐に及び、「新鮮外傷・熱傷」「顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷」「唇裂・口蓋裂」「手、足の先天異常、外傷」「その他の先天異常」「母斑、血管腫、良性腫瘍」「悪性腫瘍およびそれに関連する再建」「瘢痕、瘢痕拘縮、肥厚性瘢痕、ケロイド」「褥瘡、難治性潰瘍」「美容外科」などが代表的なものです。



形成外科 部長 有川 俊輔 医師
扇 紗季子 医師

※写真撮影のためマスクを外しております

当科の特色としては、当院が小児医療と3次救急医療が盛んであることから、先天性の形態異常をはじめとした小児症例、重度外傷症例が多くなっております。

症例写真を供覧致します。

右唇顎口蓋裂口唇形成



生後3ヶ月で初回手術を実施

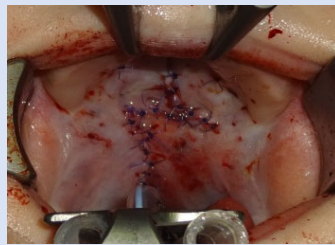
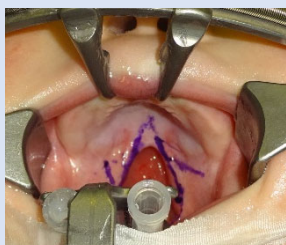


Rotation advancement
+小三角弁法で口唇裂を閉鎖



術後1年

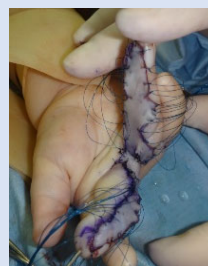
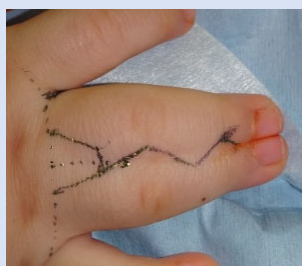
軟口蓋裂： Furlow法による口蓋形成術



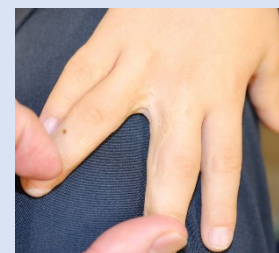
先天性眼瞼下垂： ゴアテックスシートによる吊り上げ術



ⅢⅣ指完全合指症：皮弁と全層植皮による指間形成術



内果からの全層植皮



術後3年

右頬部脂腺母斑：6～9歳にかけて計4回の分割切除で全摘



初診時

(病変範囲をマーキングしている)



初回手術



2回目



3回目

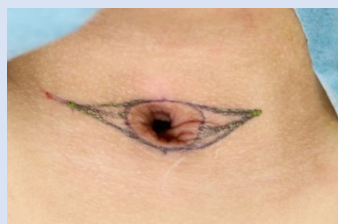


4回目



最終手術後3年

気道狭窄症により生後から12歳まで維持された気切孔（気管皮膚瘻）の閉鎖



気切孔をくり抜き、瘻管皮膚の
反転皮弁で気管軟骨欠損部を再建



術後1年

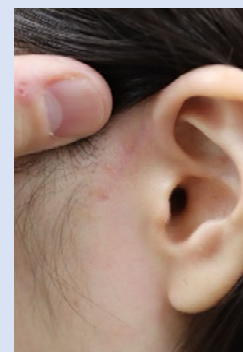
※**血管腫**については、乳児血管腫（いちご状血管腫）に対するプロプラノロール内服治療と切除が可能な小病変に対する手術治療は行っていますが、レーザー治療や硬化療法は行っていません。

先天性耳瘻孔

20代女性。幼少期より感染を繰り返していたが保存的加療のみで経過観察されていた。徐々に重症化したため、成人後に他院で複数回手術するも再発を繰り返し、当科を受診。



深部に取り残された耳瘻管内腔を染色して確実に全摘



術後半年再発なし

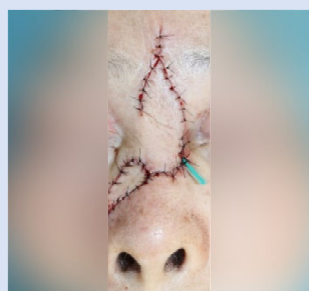
耳瘻孔は自然には閉鎖しません。幼少期に症状が無い場合でも成人してから初めて感染する症例も多々見受けられます。一度感染してしまうと炎症による瘢痕が形成され、目立つ傷痕になりやすく、全摘するためにより大きな切開を必要とします。

また、感染して痛がるお子さんをおさえつけながら排膿処置を行うことは患者、医療者双方に非常に苦痛を伴います。当科では耳瘻孔はほぼ全例、1歳以降に全麻手術で全摘し根治を図ることを基本方針としております。「腫れてきたら治療すれば良い」と放置することなく、発見次第速やかに当科へ紹介して頂くようお願い致します。

鼻背部有棘細胞癌 (SCC) : 局所皮弁による再建



SCC全摘後、Glabellar flapをデザイン



鼻唇溝部からのV-Y前進皮弁を追加して再建



術後3ヶ月

下腿プレート露出に対する遊離前外側大腿皮弁による再建



顕微鏡下に皮弁と移植床の動静脈を吻合



外側大腿回旋動脈下行枝からの穿通枝で栄養される皮膚～筋膜の複合組織皮弁を挙上

全身熱傷



爆発した金属片による顔面重度挫滅創

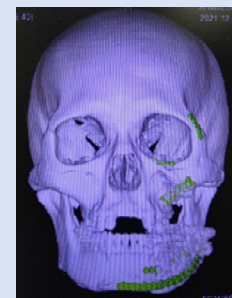


緊急全麻手術で再建



術後1年

顔面骨骨折



チタンプレートで整復固定

【外来診療について】

完全予約制とさせて頂いております。患者さんご自身による電話予約、もしくは地域連携紹介枠の御利用をお願い致します。

形成外科外来担当医一覧

月	火	水	木	金
有川	扇	休診	有川 (13:30~)	扇
新患紹介枠 (午前)			新患紹介枠 (午後)	

地域連携室（紹介予約担当） TEL：047-712-0685 FAX：047-712-2573
（受付時間 平日 8：30～17：00）

早急な対応が必要な症例に関しては外来時間外でも診察致しますが、少人数体制のため、手術中や緊急の処置中などは対応が難しい場合もあることをご了承ください。

当科で診断と治療方針の決定を行った後、自宅近医での通院を希望される患者さんや、手術適応がなく慢性的な経過となる症例などは近隣医療機関へ紹介させて頂く場合がございます。ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

お願い・お知らせ

●新型コロナウイルス感染症について

新型コロナウイルス感染症が疑われる患者さんに関するご相談は、従来どおり地域を管轄する保健所、又は地域に設置されたPCR検査センターにお願いします。

なお、新型コロナウイルス感染症の疑いの患者さんが直接受診されることがないように、下記の場合に患者さんをご紹介いただく際は、必ず医療機関より、当院へご一報ください。

- 肺炎疑いなどで、当院の診療が必要と考えられる。
- 保健所から当院受診の指示あり。

何卒、事前連絡なく患者さんが来院されることの無いようお願いいたします。ご連絡の際は「医療機関専用ダイヤル」をご利用ください。

医療機関専用ダイヤル（※必ず医師よりお電話ください。）
TEL 047-712-2585（365日24時間対応）

臨時休診等お知らせ（2022年2月18日現在）

3月 診療科の全休診			3月 医師の代診		
小児脳神経外科		4日(金)	血液内科	18日(金)	藤川医師→山崎医師
3月 医師の休診			4月 医師の休診		
耳鼻いんこう科	松山医師	7日(月)	整形外科	飯田医師	4日(月),5日(火),6日(水)
眼科	池田医師	24日(木)			
	山岸医師	30日(水)			
内科	中川医師	31日(木)			

